

## 「新たなスタート」となる夏休み

学級・学年で協力し、たくさんの成果を残した1学期が終わります。この夏休みがスタートするこの時期は、それぞれの学年で、新たなスタートが始まる時でもあります。それは、部活動において大きな区切りをむかえる時だからです。

3年生の多くは部活動を引退し、進路実現へと歩み出していきます。2年生は、部内で最上級生となり、1年生も、先輩についていくのではなく支える立場になります。よりよい方向に自分を高めていける人もいれば、自分を甘やかし墮落の始まりとなる人もいます。しかも夏休みです。1学期間のように、学級担任の先生が注意や助言をしてくれることはありません。つまり自分の責任において、厳しさをもって夏休みを過ごす必要があるということです。

(最も大切な命や安全にかかわることは、明日の終業式で確認します。)

### ＜1年生の皆さんへ＞

小学校とはちがい、夏休みに部活動があります。どの部も10～14日程度の活動日があるようです。つまり約40日間の夏休みの内、4分の1から3分の1は、現在の土日のような部活動があるということです。

小学校時代と比べて、課題が減るわけではありません。やるべきことは、たくさんあります。期末テストの結果をふり返って、学習もしなくてはなりません。

小学校時代に、こんな失敗はないでしょうか？

朝起きられない。朝食をしっかりと食べない。昼食が朝食代わりになる。夜遅くまで起きている。極端な例では、この悪循環で昼夜逆転の生活が始まる。こうなってしまうと、なかなか生活がよくなりません。夏休みも終わりが近づき、親子ケンカをしながら、課題をやる。そして、期限が守れない。提出物を出せない生活が2学期も続く…。

これでは、2学期からの生活や学習の向上は望めません。将来の夢も危うくなります。

『まだ1年生だから』ではなく、『1年生の時にこそ』という強い心構えで、生活・学習・部活動、もちろんお手伝いや遊びも、計画的な夏休みを過ごしてください。1年生でできないことは、2・3年生の夏休みではもっと苦しくなります。先輩になるほど、やるべきことは増えていきます。

### ＜2年生の皆さんへ＞

1年生と同じく、生活・学習・部活動、もちろんお手伝いや遊びも、計画的な夏休みを過ごします。特に部活動では、最上級生(人によっては部長)としての活躍が期待されます。

部活動とは、自分たちで活動を進める機会なのです。いつまでも、顧問の先生の指示を待たないと活動できようでは困ります。1年以上も活動していれば、最初はこれをやって、次にこんなことをやると、やるべきことが分かるはずです。

自分たちで進めていってこそ、『1年生の手本』となるはずです。

夏休みの部活動は、暑いのが当たり前。えらいのが当たり前。休まないのが当たり前です。自分への挑戦です。少ない期間で、いかに活動を活発にするのか、2年生にかかっています。1人だけ頑張っても無理です。人数が少ない部活もあるかと思いますが、



中体連壮行会で3年生を送り出した  
2年生の姿は、本物でした。

2年生が気持ちをひとつにすることです。真剣に練習に取り組み、練習中の無駄をなくし、いかに効率よく練習するのかを考えてください。2年生を中心として部内でよく相談し、活動しましょう。

この経験の積み重ねが半年後、3年生(全校の最上級生)としてのリーダーシップに繋がっていきます。

また、中学校生活の折り返しも近づいています。復習を中心に計画的に学習を進めましょう。これが2学期以降の飛躍へと、確実に繋がります。

### <3年生の皆さんへ>

義務教育最後の夏休みが、もうすぐ始まります。「今年こそは、頑張らないと。」という気持ちを、誰もがもってるはずです。その気持ちが、行動にしなければなりません。「あ〜、ダメだった。」では、済まされません。今までの夏休みとは、中身がちがいます。それは、誰もが分かっていることです。

自分で選んだ、高等学校などの学校見学に行きます。見学にあたって、最も大事な準備は『心構え』と『服装』です。自分自身が「学校を見学して情報を得る。」という気持ちはもちろん大切ですが、学校側に自分のやる気が最初に伝わるものは服装です。甘い考えは、仲間(向陽中3年生)や自分の評価を下げます。また、見学中の態度も大切です。“いいかげんな自分”を、高等学校などにアピールすることがないようにしてください。

学習は、やらなければならない量が、たくさんあります。

1・2年生の復習。3年生1学期の復習。少なくともこれだけが範囲です。最低1回は復習しないと、いろいろなテストに立ち向かえないでしょう。覚えていないことは、覚える。できないことは、できるようにする。そう考えていくと、時間はいくらあっても足りません。最低でも100〜150時間はかかるでしょう。これは、1日2時間半〜4時間は学習することになります。毎日学校で6時間授業をしていたことを考えれば、どうしてもできない時間ではありません。計画を立てて実行してください。

今「何をやっていいのかわからない。」「何から手をつけていいのかわからない。」という人はいませんか。そのまま夏休みにならないように学級担任の先生や教科担任の先生に相談してください。また、夏休み中であっても、聞きたいことがあれば学校へ電話して、先生が見えるかどうか確認してから、制服(または体操服)で登校して、指導を受けてもかまいません。

3年生は、『人生を左右するかもしれない夏休み』です。自分で計画を立て、責任をもって取り組みましょう。

### 生徒・保護者・教職員が一体となって 共に考え、共に学ぶ

たくさんやることがある夏休みですが、終わりに近づくとつれて、時間を早く感じるものです。それに、計画通りに進んでいないと、あせる気持ちになります。そんな気持ちにならないためにも、心がけることは、「生活リズムを崩さない」ことです。だらだらした生活から得るものは、ありません。今までの夏休みをふり返っても、失敗の原因はこれだと思います。

夏休みの過ごし方を成功させてきた生徒を、何人も見てきました。2学期は生き生きと活動して、自分の能力をぐっと伸ばしました。

失敗した生徒もいました。原因の多くは「生活リズムの崩れ」と「心構えの甘さ」です。自分に非常に甘いことが、失敗した生徒の共通点です。「なんとかなる。」ことはありません。「なんともならない。」ことはあります。自分に厳しい夏休みを過ごさせたいです。

また、生徒と学級懇談会や地区懇談会を通して保護者の方々に、「夏休みを迎えるにあたって」という生徒指導上配慮したいことをまとめたプリントを配布しました。内容をよくご確認していただき、生徒が安心・安全に生活できますよう、ご理解とご協力をお願い致します。